

## 目 次

巻頭言	岩手郡医師会 及川 忠人 監督	1
開会式スナップ		4
第58回 岩手県医師会親睦野球大会に参加して		
.....	三善 悟 コーチ	6
救急災害医療に対処するために	久保谷康夫 コーチ	8
野球大会準備あれこれ	篠村 達雅	10
Aブロック優勝報告	盛岡医師会A 佐藤 公也 主 将	13
Bブロック優勝報告	釜石医師会 小泉 嘉明 総監督	14
一表彰式・懇親会一	場係から 栄内 秀彦	15
編集後記		18



# 巻頭言



## 第58回岩手県医師会 親睦野球大会への協力に感謝して

岩手郡医師会 監督  
大会実行委員長  
岩手郡医師会 会長

及川 忠人

第58回岩手県医師会親睦野球大会は8月27日残暑厳しいながらも炎天下の晴天に恵まれ、無事に各試合も終了しさらに、表彰式、懇親会そしてピアノ演奏および上原先生を中心とする特設バンド等の素晴らしい企画とその実施がなされ、盛会裏に終了することができましたことは、これまで準備に当たってこられた各実行委員の先生方並びに郡医師会会員の諸先生方のこれまでのご努力とご支援が実った素晴らしい賜物であると思い、心から厚く感謝申し上げます。

振り返ってみますとこの野球大会の準備は紆余曲折を経て、平成17年の久慈医師会担当の大会を模範として準備を進めてまいりました。また特に現場では、篠村先生が殆どの準備の段取りを作られて、その計画を実施にうつして何とか盛会裏に終えることができたわけで、篠村先生の周到な準備があったればこそ、本大会の成功があったと確信するものでございます。これまでのご苦労とご努力に満腔の謝意を表したいと存じます。

また、それに加えて、上原先生を中心として、音楽による懇親会の盛り上がりがなされ、さらに決勝戦のインターネット中継を実現させて、懇親会場を沸かしてくれました久保谷先生の企画とこれまでのご努力に敬服と感謝の言葉を申し上げなければなりません。さらに懇親会全体の流れを的確に把握して殆ど混乱も無く無事に懇親会・表彰式をスムーズに運営された柄内先生のご努力も大きかったように思います。野球大会の運営はすべて篠村先生が作ったマニュアルを事務局長が殆ど一人でタイプして完成させ、立派な大会運営業務手順ができるばかり、次回開催への大きなプレゼントになったと思います。また事務局の看板作りや様々な目立たない貢献も大きく、費用節減への効果は實に大きいものがありました。また特にバ ITALネットを中心とした各チームの先導隊の方々の業務の徹底は本当に素晴らしいものがありました。大会運営がスムーズに流れたのはこれからの方々の力によるところが大きかったと思い、重ねて感謝申し上げます。いずれにしても、医師会会員、卸さん、零石町の役場や教育委員会そして野球協会等の多くの方々のご支援とご協力があればこそ、この大会は成功したのではないかと思います。

また日頃の準備を重ねてきたことに併せて天気に恵まれたこともとても大きいことであり、神様に感謝するしかないと思います。翌日午後病院で回診していた時に大きな雷鳴と雨が降り、一日違いでこんなに天気の状況が変わることを知り、将に好天に恵まれたことが大会を盛会に結び付けてくれたと思います。さらに我が岩手郡医師会チームは、一度も練習試合も

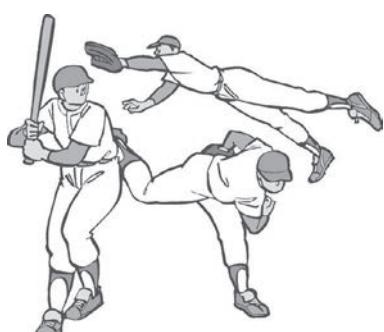
せずに此の大会に臨むことになりました。練習無しの試合に臨まさるを得なかつたことはとても残念でしたが、遠野医師会を逆転で破り、さらに紫波医師会にも勝ち進むことができ、残念ながら盛岡市医師会Aチームには敗れましたが、苦戦してよくも三位に入賞したと思い、選手の皆さんには心から感謝申し上げたいと思います。

このような15年に一度しか巡ってこない医師会野球大会の準備に実行委員長として準備に当たってきた経験を通して、今後の地域医療の確保も困難な状況にあり課題が山積する中の医師会活動に生かしつつ進んで参りたいと思います。また岩手郡は広いことを今回の野球大会で実感いたしました。しかしながら、この困難さをそれぞれの会員同志で補い克服してこそ、素晴らしい医師会活動につながると確信するものであります。

司馬遼太郎は明治の国家の成長過程を秋山眞之、秋山好古兄弟の活躍を通して「坂の上の雲」の中で素晴らしい感謝を与えてくれております。その最後の中で秋山眞之の書いた「連合艦隊解散の辞」が解散式に旗艦「朝日」（三笠が自沈し、そのあと敷島から朝日になっていた）明治38年12月20日に東郷連合艦隊司令長官がそれを読んだと記されております。その一節をあげますと「百発百中の一砲、能く百発一中の敵砲百門に対抗しうるを覚らば、我ら軍人は主として武力を形而上に求めざるべからず。…惟うに武人の一生は連綿不斷の戦争にして、時の平戦に由りその責務に輕重あるの理なし、事有れば武力を發揮し、事無ければこれを修養し、終始一貫その本分を尽くさんのみ。過去の一年有半、かの風涛と戦費、寒暑の抗し、屢々敵と対して生死の間に出入りせしこと、もとより容易の業ならざりしも、観ずればこれまた長期の一大演習にして、これに参加し幾多啓發するを得たる武人の幸福、比するものなし」そのあと、東西の戦史の例を引き最後は以下の一句で結んでいます。

「神明はただ平素の鍛錬に力め戦わずして勝てる者に勝利の栄冠を授くると同時に、一勝に満足して治平に安ずる者よりただちにこれを奪ふ。古人曰く、勝って兜の緒を締めよ、と」

この会報は、今回の岩手県医師会親睦野球大会の準備等より今までのことを振り返り、野球大会特集と致しました。これから医師会活動への参考になることを願い広報委員会にて企画したものであり、担当の柄内秀彦担当理事ならびに山口淑子編集委員長ならびに編集委員会の先生方のご努力に心から感謝申し上げ巻頭言に替えます。





## 大 会 次 第

### 1. 開会式並びに永年選手表彰式（午前7時50分）零石町営野球場

- (1) 役員・選手入場（零石中学校吹奏楽部の演奏をバックに、プラカードを先頭に行進）  
 (2) 開会の辞 岩手郡医師会副会長 岡田行生  
 (3) 国旗並びに医師会旗掲揚  
 (4) 大会会長挨拶 岩手県医師会長 石川育成  
 (5) 優勝旗・準優勝旗返還
- |                               |                |
|-------------------------------|----------------|
| Aブロック 優勝 久慈医師会                | 準優勝 水沢医師会      |
| Bブロック 優勝 県立中央病院A              | 準優勝 岩手医科大学医師会B |
| (6) 大会実行委員長挨拶 岩手郡医師会長 及川忠人    |                |
| (7) 来賓祝辞 零石町長 中屋敷十修           |                |
| (8) 選手宣誓 岩手郡医師会主将 植田修         |                |
| (9) 永年選手表彰                    |                |
| (10) 次期開催地医師会長挨拶 二戸医師会長 小野寺正信 |                |
| (11) 審判長挨拶 零石町野球協会会長 米田武彦     |                |
| (12) 連絡事項 岩手郡医師会 栄内秀行         |                |
| (13) 閉会の辞 岩手郡医師会副会長 岡田行生      |                |
| (14) 役員・選手退場                  |                |

### 2. 試合開始（午前9時00分）

始 球 式 高橋牧之介、三善悟、秋濱朋子

## 大 会 役 員

会長	岩手県医師会長	石川 育成
副会長	岩手県医師会副会長	高橋牧之介
副会長	岩手県医師会副会長	岩動 孝
副会長	岩手県医師会副会長	小川 彰
大会役員	岩手県医師会全理事	
大会実行委員長	岩手郡医師会長	及川 忠人
大会実行副委員長	岩手郡医師会副会長	岡田 行生
大会実行副委員長	岩手郡医師会副会長	篠村 達雅
資格審査委員長	岩手県医師会常任理事	小原 紀彰

## 岩手郡医師会チーム

No	選手氏名	年齢	ポジション
1	高橋牧之介	76	総監督
2	及川忠人	60	監督
3	三善悟	75	コ一チ
4	久保谷康夫	57	コ一チ
5	植田修	49	主将
6	高橋克郎	58	選手
7	石田薰	58	選手
8	嶋信	65	選手
9	木村秀孝	63	選手
10	大津友見	54	選手
11	成島勝之助	50	選手
12	立本仁	49	選手
13	金井猛	43	選手
14	坂本文明	43	選手
15	秋濱玄	44	選手
16	清水光昭	40	選手
17	北上明	45	選手
18	金森一郎	55	選手
19	篠村達雅	61	選手
20	栄内秀彦	62	選手
21	上原充郎	64	選手
22	佐々木久夫	67	選手
23	西島康之	72	選手
24	浅利宏英	36	選手

## 表彰式並びに懇親会

会場	つなぎ温泉 ホテル紫苑	
司会	岩手郡医師会	栄内秀彦
開会	岩手郡医師会副会長	岡田行生
会長挨拶	岩手県医師会長	石川育成
歓迎の言葉	岩手郡医師会長	及川忠人
成績発表	岩手県医師会常任理事	小原紀彰
表彰式		
☆ 優勝旗授与		
☆ 準優勝旗授与		
講評	零石町野球協会会长	高橋金八
乾杯	次期開催地医師副会長	菅栄一
懇親会	岩手郡医師会副会長	篠村達雅
閉会		

# 開会式

我々選手一同は  
岩手山の麓この聖石の大地に  
内科医師はその冷静な判断力で  
緻密なプレーをめざし  
外科医師はその切れ味鋭いメス裁きのよう  
華麗なプレーをめざし  
岩手県医師会親睦野球大会の  
歴史に残る様な試合となる様  
正々堂々と戦うことを誓います。



選手宣誓 岩手郡チーム 植田 修 主将



## 開会の言葉

岩手郡医師会 副会長 岡田 行生





大会会長挨拶  
岩手県医師会 石川 育成 会長



優勝旗返還 久慈医師会チーム



優勝旗返還 県立中央病院チーム



大会実行委員長挨拶  
岩手郡医師会 及川 忠人 会長



零石高校郷土芸能委員会によるさんさ踊り



「山と牧場といで湯の里へようこそ」  
零石町長 中屋敷 十 氏



二戸市医師会 小野寺正信  
会長挨拶（次期開催地）



永年選手表彰  
(代表50回出場  
三善 悟 先生)



連絡事項  
岩手郡医師会 栄内 秀彦



始球式 ピッチャー 高橋牧之介  
キャッチャー 三善 悟  
バッター 秋濱 朋子



審判長挨拶  
零石野球協会 米田 武史 氏



先導 零石中学校ソフトテニス部



演奏 零石中学校吹奏楽部



## 第58回岩手県医師会親睦野球大会に参加して

玉山区 三 善 悟 コーチ



平成18年8月27日、岩手郡医師会担当で零石町において野球大会が行われました。

私は、旧玉山村と盛岡市の合併に伴い、盛岡市医師会の会員となったんですが、3月まで岩手郡医師会の会員であったこともあって、岩手郡医師会からのお誘いで岩手郡医師会チームからの出場となりました。ついでに、広報担当も頼まれ、奮戦記を書くことになった次第です。

幸い、試合当日は好天に恵まれ、甲子園の熱い戦いの熱も覚めやらぬ絶好の野球日和です。開会式に先立って、地元中学校、高等学校の協力もあり、さんさ踊り（零石では「参差踊り」といいます）、吹奏楽部の演奏で盛り上げて貰いました。

7時50分開会式。出場22チームの入場。

開会の辞（岡田副会長）に始まり、大会実行委員長及川会長が挨拶されました。

永年選手表彰は、岩手郡では10回出場の大津選手が受賞し、私が50回出場（盛岡市）ということで、35名を代表して賞状と記念のメダルを戴いて参りました。

大会前の7月29日、練習を兼ねた、いわて八幡平歯科医師会との交流試合が流れ、本大会が初対面となる選手が何人かいるような状態でした。試合前日の作戦会議では、先発メンバーを組みながら、「遠野戦は勝つて、次の紫波戦が問題」などと話が出、

「ただ、やつてみないと分からないぞ」と言いつつも軽く考えて、岡田、飯島先生は同じホテルの釜石医師会へ表敬訪問。及川、西島先生と私が栄内先生の車で宮古医師会、岩

手医大1内、気仙医師会を訪問したのですが、気仙の先生方は翌日の試合に備えて既に懇親会を終了して各部屋に戻り、会えず残念でした。

さて、試合に先立って始球式。例年ですと、ここは石川会長の出番ですが、岩手郡の地元開催という粋な計らいで、投手は岩手県医師会副会長（前岩手郡医師会会長）の高橋牧之介先生、捕手は50回出場の私・三善岩手郡医師会チームコーチ、そして打者には、3月まで岩手郡医師会の会員だった玉山区の秋濱朋子先生という趣向でした。

選手は、昨年までの主力選手、久保谷、大津、高橋（克）、嶋選手が出場不能。

初戦は、次のような布陣で臨みました。

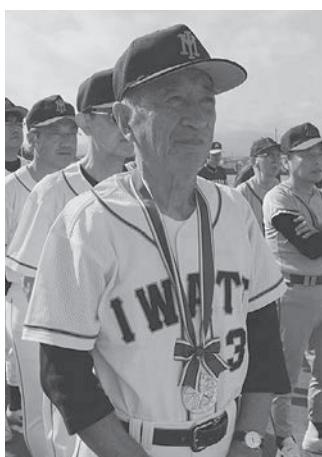
守備位置	投手	捕手	一塁	二塁	三塁	遊撃	左翼	中堅	右翼
選手名	清水	金森	石田	立本	成島	坂本	秋濱	北上	植田
打順	5	6	3	1	4	2	8	7	9

第一試合。遠野医師会先攻で「やってみなければ分からぬ」試合になります。我がチームの投手陣が今まで見たこともないノーコンで、四球、三振、四球、暴投、パスボールでたちまち1点献上、投手前内野安打でまた1点、計2点。次打者レフト前ヒットは、秋濱選手の見事なバックホームでサードランナー挾殺。ヒットで出たランナーも飛び出しタッチアウト。辛くも2点だけで済みました。

1回裏 岩手郡 1、2番三振。3番ヒットで出ても、4番三振。

2回表 遠野 四球、四球、暴投、ヒット、三振、センターフライで満塁ながら二死まで取りながら、内野エラー、ヒット等で一挙5点を失い、2回表にして早くも7-0の大差。下手すればコールド負け。いやな予感。「一体、皆何やってんだ」と腹立たしくなってきます。

2回裏 岩手郡 サードエラー、死球でノーアウト一塁二塁のチャンス。7番インフィー



ルドフライで一死、8番のセカンド内野安打で満塁。9番のサードゴロで1点。1番の三遊間ヒットで2点。7-3と追い上げ、2番のショートゴロエラーで再び満塁となつたが、3番4番の三振で3点止まり。

3回表の遠野の攻撃を、三ゴロ、三ゴロ、三振と、やつと三者凡退に討ち取つて最後の攻撃。時間もない。

5番清水サード頭上を抜くヒットで始まり、金森、北上連続四球で満塁。続く秋濱死球、植田のヒットで2点を返し、坂本の二ゴロがセーフで点差は1点。尚も満塁一打逆転のチャンスに立本が左中間を深々と破る走者一掃の逆転満塁さよならホームラン（ランニングホームランでしたので記録は二塁打止まり）で4点差を引っくり返す奇跡の大逆転劇。8x-7で辛くも二回戦進出です。

第二戦は、紫波郡医師会とは、次のようなオーダーで臨みました。

守備位置	投手	捕手	一塁	二塁	三塁	遊撃	左翼	中堅	右翼
選手名	立本	成島	石田	清水	浅利	木村	秋濱	北上	植田
打順	8	4	3	5	1	2	7	6	9

岩手郡チーム全員安打で1回6点、2回4点で計10点。

紫波郡チームは、ヒット2本だけ（3番に特大の二塁打は打たれました）でしたが、死球5個、暴投、パスボール絡みで、1回5点、2回2点、10-7で何とか準決勝進出。

準決勝は、盛岡Aチームとの対戦。岩手郡医師会チーム疲労の色濃しと言つた状態です。

この試合も守備位置は、しばし変更しましたが次のようなオーダーです。

守備位置	投手	捕手	一塁	二塁	三塁	遊撃	左翼	中堅	右翼
選手名	石田	成島	金森	立本	浅利	坂本	秋濱	金井	植田
打順	3	4	6	9	1	5	8	7	2

岩手郡先攻 1番三ゴロ、2番二ゴロセカンド弾くもショートバックアップ一塁アウトで2アウト。3番石田の痛烈な三塁線への当たりは、サードライナーとなり3アウト。

盛岡A 四球3、長短ヒット4本で5点。

2回表岩手郡 4番成島投前内野安打、すぐ盗塁、送球ショートが弾く間に三塁まで。5番サードフライで一死、6番三振で二死、7番金井のセンター前ヒットで成島ホームイン。8番秋濱痛烈なピッチャーライナーで1点止まり。

2回裏盛岡A 四球4、ヒット4本、岩手郡のエラーも重なり7点、合計12点。

3回表岩手郡 代打構成もむなしく三者凡退でゲームセット。

残念ながら準決勝で敗れました。

練習も練習試合もできず、ブツツケ本番で大変でした。よく怪我も無く終わったと思つております。

投手は、交代しながら5人で投げました。

飯島先生は、「練習して、来年は俺が投げる」と言っております。投手陣の整備が一番と思いました。

守りも、岩手医大硬式野球部で、1年目の夏から4番を任せられていましたし、平成3年玉山に来るまで盛岡市医師会のチームの監督もやっておりましたので、キャッチボールを見ただけで野球をやってきた人かどうか判るつもりです。でも、今回だけは、昨年までの主力4人が抜け、初対面の先生方も判らず、正直参りました。

もし、石田先生が投げてくれなかつたら、それに、遠野での挟殺プレーが無かつたら、1回戦でA球場を去らなければならなかつたと思います。

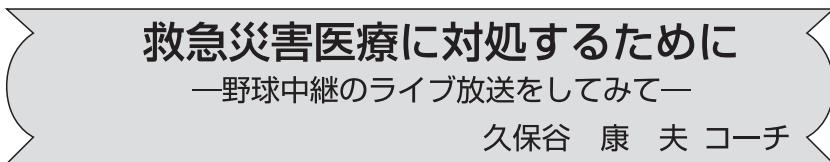
岩手郡医師会が担当となる前から、及川会長はじめ、実行委員の先生方、殊にも、篠村先生の分割みの見事な運営、そして、卸さんの統率の執れた連係プレーにより大成功裡に終了し、他の医師会から賞賛の声も聞かれました。

本部、球場、入浴場、懇親会場の各担当の方々、AED担当の先生方、そして応援にいらして頂いた方々、本当に有難うございました。

山口先生、アナウンサー良かったですよ。

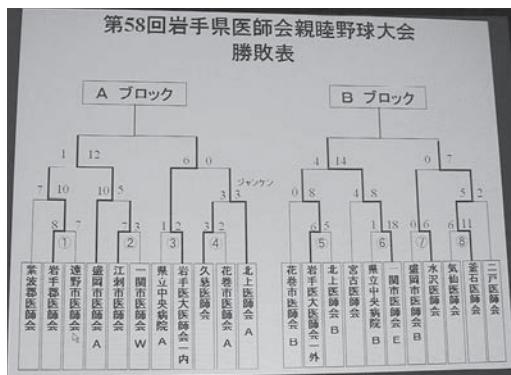
選手も頑張り、三位に入賞いたしました。

皆さま、本当に有難うございました。



野球小僧と言うにはだいぶ年をとり過ぎているが、毎年300人以上もの野球好きが一同に会する。岩手県医師会親睦野球大会である。毎年、8月の最後の日曜日、都市医師会が持ち回りで野球大会一切を担当する。今年は、われわれ岩手郡医師会が担当した。

早いもので、既に30年も経過しているが、小生は、投手で4番バッターで、昭和50年大会で、栄えある最高殊勲選手賞を授与した。しかし、最近では五十肩で、数m先にしかボールは届かず、また打つ方はゴルフのクラブを握る機会が多いためかはたまた近眼のためか、バットとボールが不仲であるので、ベンチを暖めることが多くなってきた。ところで、2年前に岩手県医師会ゴル夫大会を担当した。ゴル夫大会はいつでも感じることだが、またそのスポーツゆえの特徴であるスタート時間の関係で、懇親会には会員の殆どが残っていない。親睦大会のはずが、多くの参加者が帰宅した後の表彰式や懇親会は実に寂しいものだと、残念に感じていた。何とかならないものかと思っていた。私がゴル夫の多くを企画立案できる立場にあったので、スタートが一緒なら終了・懇親会は一緒なはずだと、「ショットガ



会場には試合や結果が生中継！



ン方式」のスタート形式として好評だった。

野球大会も、ゴルフ大会同様に、懇親会に一堂が会することはない。せいぜい、降雨中止のジャンケン大会のときくらいだ。尤も、このジャンケン大会がかなりも盛り上がるから不思議なものだが。懇親会に多くの参加者が残るようになってきたがなかなか妙案が浮かばない。雨頼みでも困ったものであるし。

そこで、野球の実況中継を考えた。懇親会会場に参加者の多くが参集したころに、決勝戦が行われており、その実際のプレーを懇親会会場のスクリーンに投影できたら、先ほどまでの自分たちの熱戦と重ね合わせて、時間の過ぎるのを忘れて、エンジョイしてくれるかもしれないと思った。

しかし、問題は予算である。実際にテレビ中継を依頼するとなると莫大な費用が生



よる、医療問題の討論などを経験していたので、このテレビ会議システムを利用して、野球の実況中継を企画・立案してみた。

このテレビ会議システムはインターネット回線を通じた、音声・画像の相方向のコミュニケーションシステムである。とは申せ、零石町のインターネット回線の実際が



どうなっているのかなど全くの基本的な知識がないのに、野球の実況生中継という、岩手県医師会における初めての試みをやってみたくなったのである。これが、今年の6月のはじめごろである。試合は8月末だというのに。

そこで、どこか他の医師会で、このような経験やノウハウが無いものかを、医療従事者が加入している全国最大規模のメリングリストで尋ねてみたが全く反応はない。しかし、程なく見ず知らずのNTTの横浜の営業所の方が、メールで、多くの適切なアドバイスを提供してくれた。その方を通じて、零石町営野球場に、インターネットのモデムを設置したり、懇親会会場に設置する、ネットの端末の交渉をしてくれたりと、私は、机の上のメールに向かって、まさにデスクネットで要件が事足りてしまった。

ところで、NTTのシステムのテレビ会議システム（ビデオチャット）は相方向だが、マッキントッシュが最近新しいソフトを出した。これは主に単方向システムだが、

画像に優れており、親睦野球大会が開催される零石町のようなネット環境が貧弱な地域でも、テレビの画像に匹敵するような映像が楽しめる。このシステムを駆使して、野球生中継のプロデューサー、ディレクター兼アナウンサーの一人三役を演じた。野球大会の開会式と決勝戦の模様を、DVDにして、各郡市医師会にお送りした。お楽しみいただきたい。

Aブロック決勝戦は、盛岡市Aチームと岩手医大第一内科チームで行われ、投手戦となり両軍ともに堅い守りで0対0のまま時間切れ引き分けとなった。大会規定により、両軍9名の、ジャンケン大会となった。ホームベースをはさんで、守備位置に投手が1番目、捕手が2番目というように、9名が向き合って整列し、一人ずつ「ジャンケンポン」と野球小僧になるのである。

野球のライブ放送のディレクターとしては、最高の盛り上がる場面である。後で聞いた話では、決勝戦特にジャンケン戦を最後までるために、入り口に人だかりがでたという。

野球小僧が野球小僧を楽しんだ、思い出に残る一日になった。



# 野球大会準備あれこれ

大会実行副委員長  
岩手郡医師会副会長

篠 村 達 雅

18年10月初め、第58回岩手県医師会親睦野球大会の原稿の依頼があり、野球……忘却のかなた…… 野球の準備より大変な事態である。

16年9月岩手郡医師会担当ゴルフ大会終了後の懇親会の時「次は野球だな」という話より始まる。

## 場所

滝沢・松尾・零石等を検討：敗者親睦試合の時間をあけないで計画するには、10会場必要となり、零石球場中心となった。

## 開催日

18年8月20日または27日の検討：零石球場等の使用許可は毎年2月に各種団体が体育館に集まり、年間行事を決定している。早く申し込まれても、その時調整する形となるので確約できない、との事。8月20日は零石町主催のよしやれグランドゴルフ大会が零石球場を使用している。8月27日の予定は入っていない。

8月26日大曲の花火大会があり、どこのホテルも（盛岡市内も）満室となる。

6ヶ月以上前に宿泊予約が必要。R46渋滞の危惧あり。

**表彰式並びに懇親会会場：**ホテル森の風・ホテル大観・ホテル紫苑等を検討

ホテル大観：第43回大会時使用、非常に評判が良く時間が来ても帰らない会員が多く関係者をやきもきさせた実績。  
ホテル森の風：多くの会員が参加しやすくするため、家庭サービスをかねて出来る、けんじワールドとの組み合わせ。  
ホテル紫苑：会場の大きさ、舞台の広さ、玄関からの通路状況。

## 記念品

実用的で何枚あっても困らない良質なバスタオル。

飲食物が喜ばれるので、小岩井乳製品・零石牛・葛巻ワインの詰め合わせ。

零石に古くから伝わる織物「亀甲織」。名入り手拭い等が候補。

**大会プログラム表紙：**岩手県医師会親睦野球大会開会式及び岩手郡5市町村の特徴

を表す写真と、中央に立体感あふれる野球ボールを配置した柄内先生の力作。



総務会・準備委員会・実行委員会で検討、理事会で決定した。

◎郡医師会事務局は松尾にあるため、零石の会員が基礎データを作り、事務局で完成させる方向となった。（県医師会、各郡市医師会、役場、野球場、学校等への挨拶、連絡、文書等、仕事が多く、東八幡平病院との兼務の3人の事務局は大変だったようだ。）

**高橋牧之介前会長より：**大成功に終わった第43回大会の話を聞いた。「計画は少人数でつくれ。そうしないと、前に進まないし穴があく。」…頭の隅に常にあった。

## 地図

まず地図を読めない人でも分かるような案内図と案内板を考えた。シャーカステンに5万分の1の地図の拡大コピーをはさみ、その上にトレッシングペーパーを重ね原画を作った。各野球場案内図は手書きした。住所か電話番号が分かれればカーナビが案内してくれる事は後で分かった。

## トーナメント方式

トーナメント方式による22チームの移動を少なくするため、Aグループを零石地区、Bグループを鶯宿地区に分けた。各試合前後の移動をイメージして道路案内番の場所、矢印の方向を考えた。11時に試合終了するチームが14チームあり、入浴場を3つ用意した。しかし、ホテル紫苑に流れた人が多く、混雑した模様（紫苑の入浴料金は料理代に含まれていたので節約されたことになった。）

## 料理

懇親会の料理（久慈大会では海の幸がいっぱい。1人7,000円以上とか）ホテルの話では、3,500円から可能だが、普通は4,000円以上との事。1人6,000円で、お客様が、また食べたいと思う料理を出すように頼んだ。

海がないので、おいしい物はないとの話が入ってきた。何としても零石牛を出さなければならない。零石牛の組合にホテルと話をつけてもらった。懇親会出席者申込者536名、実際の参加者342名（63.8%）。申し込んだのに料理が足りないでは話にならない。530名分の準備をした。この数字をどうみれば良いのだろうか。

**AED**：岩手郡医師会員より借用して各球場および入浴場に準備した。高価なものであり預かった先生方もずいぶん気をつかった様子。（破損・盗難）

**試合球**：公認球が新しくなった。スポーツ店に12ダース注文したら、全国的に品薄で準備出来るか分からないと言われ、ビックリ。零石野球協会長の口添えもあり、間に合った。ライン引き用石灰：かぶれる人がいるのでスポーツ石灰（高価）もあると言われた。

**おにぎり**：各チームの選手、審判団、ボールボーイおよび朝6時30分集合、午後1～2時まで手伝う卸の人たち、郡医師会員におにぎり2個では不足と思いつつ午前9時～9時30分に計620人分配布（卸の人達には1時過ぎに昼食をとってもらった。）

**飲み物**：各球場2ヶ所で充分という声もあったが、審判員、ボールボーイ、卸の人、郡医師会員を考えて3ヶ所（1塁ベンチ、3塁ベンチ、ネット裏）に用意、暑かったこともあり考えていた数の2倍消費（飲むだけではなく持ち帰る人もあった）業者は良い商いをさせてもらったと喜んでいた。

### 大会実施要項の作成

水沢・久慈両大会の要項および県医師会の資料を参考にした。始めは本部の動き、卸の人達、会員の仕事が見えなかった。1人1人の仕事をはっきりさせる必要を感じつつ、はじっこの方から作業をはじめた。

各球場担当者、各浴場担当者、各チーム担当者、計35名の卸の人達の業務作成。トーナメント方式の組み合わせ（厳正な抽選の結果）が出来てきたので各チーム人数、乗用車、バスの確認。開会式の駐車場位置、式後の出発順位を設定。その位置への案内方法、人員の配置（広い駐車場であるが、当日、運動公園内では他の競技もあり貸切とはならないため）、案内板設置、写真撮影、撤去方法を考えた。町営球場、懇親会

場、本部担当者の業務作製。やっと卸の人41名のタイムスケジュールが出来た（失礼とは思ったが将棋の駒を動かす様に感じていた。）

次に各球場と本部、入浴場、懇親会場との電話連絡網の作製。混雑する部署は、2人体制が必要と指摘され、前日変更。審判団、卸各社、ホテル紫苑等との数回の打ち合わせ。また卸の人達の業務が多くなるので、飲物、おにぎりの配達追加、道路案内板の撤収は業者に依頼。頻回に中味が変化するのでパソコンを打っている事務局は大変だったと思う。雨天時の対応は、天気予報が晴れだったので途中でやめた。

### 大会前日の業務

県医師会事務局、郡医師会会員、事務局、卸の方、40名位

午後1時：零石球場に集合、看板、横断幕の取り付け、放送設備、国旗、県医師会旗掲揚確認、テント、長机、椅子の借用、案内板取り付け（街中は酔払いの悪戯を考え翌日にまわした）各球場整備状況確認等々。午後3時：ホテル紫苑に移動、記念品の袋詰め（550個）、各チーム毎に箱詰め（22個）それをワゴン車に載せる。試合球、ロジン、スコアカード、オーダー交換用紙を各球場毎に箱詰め（10個）、別のワゴン車に載せる表彰式の進行、座席配置確認、等々。

皆さん手際よく仕事を片付けてくれた。

### 大会当日

午前6時30分、零石町営総合運動公園隣りのJA駐車場に集合（本部前の混雑を避けるため）。前日積み込んだワゴン車のダンボール箱を各担当者に配布。球場前にテント設置、立看板、長机、椅子、グランドに開会式の準備。

○6時50分、駐車場係担当場所に移動、受付開始、スムーズに流れている。当日は何もしなくても良いように準備してきた。確



認のためグランドに出た。唚然とした!! プラカードが1塁ベンチ前に積まれている。1塁から3塁を結ぶ線上に、野球ボールがない。担当は……。プラカードは零中女生徒1人1人に持ってもらい、所定の位置に運んだ。野球ボールは、岩手郡医師会チーム用のものを借用し、先生方の協力を得て並べた。ホッとした、アブナイ、アブナイ、その他はうまくいっているのか、チョット心配。うぐいす嬢、マイクテスト 美声OK。

○開会式予告……いよいよ始まる。零高さんさ、美しく躍動感あふれる演技。さすが全国版。中国・韓国公演と重ならず良かった。零中応援団も出したかったな…。

狼煙10連発、のろしに慣れている人もビックリする派手さ。隣の運動会の人達も自分の事のように喜んだみたい。選手入場、プラカードを掲げての行進、零中吹奏楽部もOK、うまくいった。アレッ…何か変…アナウンサーの原稿が修正前のもの…まあいいか…。

○本部テントにもどり、各球場担当者、出車誘導者の移動確認。本部前の駐車場はあいているはずだったが、車がいっぱい…。隣のテニスコートの関係者のものらしい。考えが足りなかった。

○選手宣誓が聞こえてきた。「植田先生、やった!!」、開会式終了後の始球式準備、各球場と本部との電話連絡網確認、すべてOKのようであった。

○インターネット中継は久保谷先生、表彰式・懇親会は柄内先生、各球場・浴場もそれぞれの先生方にお願いしてある。遠くの方で卸の人達の話し声が聞こえる。岩手郡チーム苦戦…それはないよな…。テント下の椅子に座り、ただボーとしていた。岩手郡大逆転…。

○鶯宿グランドより緊急連絡…審判員が引き上げている…眼がさめた。審判員の入れかえだから大丈夫。連絡していなかった…ゴメン!! あとは、うまくいっているのかな…。またボンヤリしていた。

○本部の後片付けの後、各球場を見回り、紫苑へ行った。表彰式をやっていた。遠くから眺めていた。料理は大丈夫だったかな…。これで終わった。閉会の辞は何を話したか覚えていない。

## ◎反省

1. 繊密に準備したつもりであったが、最後の確認が足りなかった。
2. ボーとするのが早すぎた。  
\*参加された会員、家族は楽しんでくれたかなあ…。野球が終わって一番ホッとしているのは当院の従業員かもしれない。という声も聞こえる。自分だけ楽しんだのか…?

## ◎岩手郡医師会役割分担

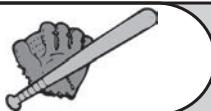
- ・総括 及川忠人、岡田行夫、篠村達雅
- ・開会式 岡田行夫、柄内秀彦、久保谷康夫
- ・来賓接待 及川忠人、高橋孝、西島康之、根本忠夫
- ・受付 岡田行夫、佐々木久夫
- ・連絡 嶋信、谷藤一生、篠村五雅
- ・放送 山口淑子、秋濱明子、小豆島純子
- ・写真・記録 紺野敏明、三善悟
- ・零石町営球場 飯島仁  
(A E D 木村(秀)先生より借用)
- ・御明神運動場 土谷正彦  
(A E D 成島先生より借用)
- ・零石高校 和田進  
(A E D 東八幡平病院より借用)
- ・零石中学校 桂泰鴻、藤井裕  
(A E D 高橋(孝)先生より借用)
- ・零石小学校 谷藤一生  
(A E D 秋濱先生より借用)
- ・鶯宿運動場A 森茂雄、矢追博美  
(A E D 森先生より借用)
- ・鶯宿運動場C 高橋邦尚  
(A E D 高橋(邦)先生より借用)
- ・御所大橋運動場 宮杜牧人  
(A E D 宮杜先生より借用)
- ・鶯宿運動場B 遠藤哲夫、松尾尚  
(A E D 東八幡平病院より借用)
- ・南畠小学校 吉田雅美  
(A E D 吉田(雅)先生より借用)
- ・ホテル紫苑 懇親会場 柄内秀彦、上原充朗、紺野敏明、久保谷康夫、岡田行夫、西島康之、植田修、高橋克郎、成島勝之助、三善悟
- 入浴 土井尻健一、和田進
- ・南部富士見ハイツ 秋山法宏、高橋邦尚
- ・御所湖温泉花の湯 遠藤憲幸、宮杜牧人

☆ご指導いただいた先生方、ご協力いただいた多くの方々、特に身を粉にしてくれた卸の人達、本当にありがとうございました。

## 悲願のAブロック優勝

Aブロック優勝 盛岡医師会A

佐 藤 公 也 主将



先日、岩手郡医師会広報委員の方よりお電話いただき、岩手郡医師会広報で岩手県医師会親睦野球大会特集号を企画するので優勝チームから何かコメントをとのことでしたので投稿させて頂きました。

まず始めに盛岡医師会のチーム編成についてですが昨年までは3チームに別れ、いささか複雑なチーム編成でしたが、今年からは臼井監督のもとにAチーム（主に勝敗にこだわるチーム）Bチーム（もっぱら親睦を主とするチーム）とスッキリとしたチーム編成で臨むことが出来ました。その勝敗にこだわるはずの盛岡医師会Aチーム（昨年まではBチームと言ってました）もここ3～4年は連続して1回戦敗退でした。そこで最近は毎年5月頃から第2あるいは第4土曜日午後は医師会野球練習日として毎回20人前後集まり（お手伝いも含めて）楽しく練習をして、その後は必ず練習反省会と称してお寿司屋さんで夕食会をするという規則正しい姿勢で医師会野球に臨んできました。

そんな盛岡医師会Aチームに悲願の優勝をさせていただき誠に有り難うございまし

た。（実際には<1回戦>不戦勝、<2回戦>相手チームが1回戦で疲れ切っているところでの勝利、<3回戦>強豪岩手郡医師会でしたが（コメント控えます）、<決勝戦>何とか無理やりジャンケン勝負（0×0のため）とあまり練習の成果を出す場面のないまでの優勝でした）

そして、優勝させてもらったから言う訳ではありませんが、当日の零石町営球場をはじめグランド状況のいいこと、天気が良かったこと、なかでも試合経過をインターネットを通して懇親会場へ中継することなど、大変楽しい企画、準備をして頂いた岩手郡医師会の先生方に感謝したいと思います。

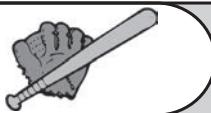
出来れば来年からもずっと岩手郡医師会が担当で親睦野球大会が開催されれば盛岡医師会には大変都合が良いと強く感じました。また個人的には植田（修）先生の詩吟で鍛えた清々しい選手宣誓も毎年有ればとも感じました。是非来年もお願ひします。

なお、来年も今年同様に5月から毎月1～2回土曜日午後に野球練習日となりますので希望の先生方は是非ご連絡下さい。



## 県医師会親睦野球大会 9回目の優勝

Bブロック優勝 釜石医師会 小泉嘉明 総監督



今年も又、駿のいい岩手郡医師会主催の零石での大会で9回目の優勝をしてしまいました。今年も研修医の若い先生と若手医師の参加があり、年齢分布がほど良い、チームワークの取れた好チームに仕上がり、練習もほどほどに出来たので大会を楽しみにしていました。

前夜祭では例年のごとく34～5名の選手、応援団で盛り上がり、岩手郡の激励には私の外科とサッカーチームの先輩二人に訪問していただき、感激でした。酒も大分進んだと思いましたが、その勢いで同室の岩田先生と明日の試合のメンバーについて十分？な検討をして熟睡した次第です。

当日は雲一つ無い青空の元、開会式が行われ、我がチームは20年で堀先生、30年で岩田先生、なんと50年で中村先生が表彰を受け、医師会の伝統を感じました。

試合内容は他の先生に書いてもらいますが、今年のチームは強く、優勝すべきして成し得たと考えます。

選手も岩田、堀、川上先生と50代の名選

手が3人も出場し、40代の熊坂投手以下全員ですばらしい野球をしてくれました。さらに新人の先生達の活躍はうれしいかぎりでした。残念ながら決勝では3度バントのサインがことごとく失敗したのが心残りではありました。

58回大会での9回目の優勝は花巻の8回を抜いて単独の首位となりました。岩手郡の及川会長始め、諸先生及び各医師会の温情に感謝申し上げます。

又、懇親会では石川県医師会長が、出身地である釜石医師会と所属医師会である盛岡市医師会のダブル優勝に大満足な様子が印象的でした。

今年も又釜石医師会の団結とチームワークの良さが見事に現れた結果だと思います。この優勝を糧に医師会員全員で地域医療にリフレッシュしてチャレンジしていくことを誓うものであります。



## —表彰式・懇親会— 会場係から

実行委員 会場係 栢 内 秀 彦



会場係の最初の仕事は懇親会会場をどこに決めるか、と言う事でした。既に準備委員会の段階で色々な意見が出てまとまらず、平成17年12月7日準備委員（後・実行委員）のメンバーで鶯宿や繫のホテルへ現地見学をし、今大会のニーズをそこそく満たした「ホテル紫苑」を懇親会会場とする事を全員一致で決定しました。

最も広いこのホテルの会場でさえ出席予定人数全員（540名前後）が一堂に会して着席する事は不可能でしたが、例年試合で敗退したチームは早々に食事を済ませ家路に向かわれ、適度にテーブルの回転があるので問題は無さそうと判断しました。（雨天の場合あらかじめ会場とロビーを一体化するテーブルセッティング予定）

岩手県医師会親睦野球大会の開催地医師会は、ここ数年優勝する事が半ば恒例化されて来ています。当岩手郡医師会野球チームは若いメンバーが少なく、又練習も出来なかった事もあり今年度優勝旗を獲得する事は至難の業と思われました。

のままでは主催地をアピールする事は出来ません。そこで我岩手郡医師会としては、大会に出席した先生方を暖かく迎え楽しく盛り上がるのある表彰式・懇親会を行ない記録に残らなくても記憶に残る大会にしようと計画しました。



準備委員会・会場下見

実行委員会の内で種々のアイデアが出されました。最終的には①クラシックピアノ演奏②TVライブ中継③上原バンド演奏④+αの表彰式とを企画しました。

零石町営野球場での開会式に引き続き10会場（野球場）に分れ試合開始となりました。敗者親善試合と2回戦敗退の選手が温泉入浴を終えて一齊に懇親会場に入ってきました。会場正面の大スクリーンにはパワーポイントで“選手の皆様おつかれさまでした”のメッセージを映しサブ・スクリーンでは紺野実行委員（会場係）がコンピューターを使い各球場から送られて来る全試合の進行状況や結果をリアルタイムに映し出し会場の皆様への情報提供としました。全て手はず通り順調に進行して行きました。

TVライブは会場の大スクリーンに久保



谷先生のアナウンス・インタビューを交えたAブロックの決勝戦とジャンケン決着に至るまでの実況を放映しました。事前の実行委員会のリハーサルでは上手く放映されず心配していましたが、本番では画像も音声も良好で会場の皆様も画像に一喜一憂し大成功でした。(別紙にて久保先生の報告あり)

**クラシックピアノ**は岩手医大5年生の角原久夫君で前日まで盛岡でコンサートで演奏していただけの事はあり、会場の雰囲気を静かで格調高いものにしてくれる事が出来ました。



角原久夫君の演奏です

**上原バンド**は決勝戦に出場した選手が会場に到着するまでの空白の時間帯を軽快なバンド演奏で楽しく盛り上げ表彰式まで繋ぎました。表彰式でのサービス演奏や懇親会での再三のアンコールに心良く応えて十二分に活躍して頂きました。

**+αの表彰式**は優勝チームへのファンファーレサービス・受賞チームへの賛歌の曲「見よ、勇者は帰りぬ」の演奏・表彰壇上で大会会長と記念撮影・優勝インタビュー・そして会場にたくさん残った選手の皆さんからの拍手を加えました。

**想定外**と言えば会場舞台前の上席は県医師会役員の先生方や表彰対象となるチーム(優勝・準優勝・3位)が着席

トランペッター  
上原リーダー

する様に考慮した事で、残りのテーブルをフル回転使用する準備をしていましたが、選手の皆さんを止めた事に依りテーブルの回転が鈍りハラハラさせられましたが、



上原バンド・演奏中



開会の辞 岡田福実行委員長



会長挨拶 石川大会会長



歓迎の言葉 及川大会実行委員長



成績発表 小原資格審査委員長



記念撮影 Aブロック優勝・盛岡A



コメントを述べる Bブロック優勝・釜石医師会長



準優勝旗授与(A) 医大・一内



準優勝カップ授与(B) 一関イースト



3位(A) 表彰状・北上A

3位(B) 医大一外科・先輩が受賞  
先輩は、直立て撮影です

3位(B) 水沢は、しゃがんで撮影



沢山の御出席有難うございます

現場に行っての空きテーブルの交通整理と岩手郡の先生方のテーブルを後回しにする事で何とか急場を凌げました。参加していただきました岩手郡の先生方には、大変ご迷惑をおかけ致しました。

式典は岡田大会実行副委員長の開会の辞で始まり、石川大会会長の挨拶、及川大会実行委員長の歓迎の言葉、小原資格審査委員長からの成績発表があり表彰式がなされました。その後零石野球協会高橋金八会長の講評・次期開催地二戸医師会菅副会長の乾杯で懇親会へとプログラム通りに進みました。終盤に入り舞台では、石川大会会長より上原バンドに「生オケ」のリクエストが入り、県医師会の役員の先生や実行委員長も壇上に上がり、大きな声を上げての大合唱（？）で盛り上げにご協力して頂きました。

準備委員会立ち上げ時より、軸になり裏方を努めていた篠村大会実行副委員長が初めて表に出て最後の閉会の辞を述べ第58回岩手県医師会親睦野球大会全終了としました。

大会会長・県医師会役員の先生方を始めとし、ご協力して頂いた全ての皆様により心よりお礼申し上げます。



講評

零石野球協会 高橋金八会長

乾杯・次期開催地  
二戸医師会 菅副会長

# 編 集 後 記

岩手山も雪景色となり、寒い冬に突入しました。さてあの楽しかった？岩手県医師会親睦野球大会も成功裡に終わり、その話題が聞かれなくなつた今、この特集号を発行します。岩手郡医師会員みんながそれぞれ関わり満足したのではなかつたでしょうか。この岩手郡医報86号を見ながらまた思い出してください。



特集号発行にあたり、原稿をお送りくださった釜石医師会会长小泉先生、盛岡市医師会野球Aチームキャプテン佐藤公先生に深謝いたします。また大会実行委員長として巻頭言を書いてくださった及川会長、大会準備に精魂こめ、そのご苦労を寄稿くださった篠村先生（毎晩の酒量が増えたのではないか？）、野球場と懇親会場を結んだ中継の中心となられた久保谷先生の顛末記、懇親会の模様をまとめてくださった柄内先生、最後になりましたが長い間岩手郡野球チームを引っ張っていってくださいり、岩手郡としての最後の大会のヘッドコーチとして頑張ってくださった三善先生からもご寄稿頂き、関係各位に深謝いたします。ありがとうございました。

山口 淑子

P S 写真のご提供くださった岩手県医師会関係の方、柄内先生にも御礼申しあげます。

岩手郡医報：No.86／2006年11月発行  
発 行：社団法人 岩手郡医師会  
発行責任者：岩手郡医師会会长 及川忠人  
事 務 局：〒028-7303 八幡平市柏台二丁目8番2号  
東八幡平病院内  
TEL 0195-78-2607 FAX 0195-78-2555  
<http://www.iwategun-med.or.jp>  
制 作：社団法人 岩手郡医師会広報部



岩手郡チーム Aブロック第3位 立派です!

皆様 本当にご苦労さまでした。



